

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
969	スポーツエキスパート活用事業	会計	01	一般会計	
		款	10	教育費	
31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	項	01	教育総務費	
		目	03	義務教育振興費	
		細目	102	児童生徒指導経費	
		細々目	13	スポーツエキスパート活用事業	
担当部課名	教育部 学校教育課				
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	中学校運動部で活動している生徒	運動部において、専門的な指導のもとで活動することができるようになります。				
本年度事業内容	市内3中学校において、柔道、ハンドボール、ソフトテニスの外部指導者による部活指導。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.25	0.25	0.25
	人件費合計(A)	1,800	1,800	1,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,567	1,568	1,568
	委託料			
	報償費	1,560	1,561	1,561
	その他	7	7	7
合計(A+B)		3,367	3,368	3,368
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	522	522	
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	2,845	2,846	3,368	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
外部指導者による部活指導実施校数	校	3	3	3			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
外部指導者配置学校数/外部指導者配置希望学校数	中学校において、部活動充実のために指導者の確保が大きな課題となっています。特に、生徒数の減少による教職員数の減員で、設置されている部活動を指導することができる教職員が不足しています。そこで、配置希望に対する充足率を指標としました。	%	25 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>学校に設置されている運動部活動の指導を充実することができ、さらに、中学校の運動部活動に対し、地域社会の支援を得るきっかけとなっています。現状は3校のみの配置となっていますので、各中学校の実情を把握し、配置を検討していきたいと考えています。</p>
--

評価	必要性	4	部活動の顧問をする教職員が転勤するなどの理由で不在となったとき、外部指導者の存在は非常に心強く思います。活動時の安全が保障できますし、子どもたちは専門的な技術指導を受けることができます。	総合評価 B
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	2		